



## サザンクロス

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構は、高度技術産業の集積による新事業創出を導く、東北のサザンクロス(南十字星)となることを目指します。

●編集発行

公益財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構  
郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

〒963-0115 福島県郡山市南2丁目52番地 ビッグパレットふくしま3階  
TEL (024) 947-4400 FAX (024) 947-4475

### 郡山地域テクノポリス推進機構

●一 沿革・方針と活動、主な事業一覧 ー……………P03

### 新事業創出育成

- 起業化支援  
ものづくりインキュベーションセンターの設置・運営……………P05
- 新製品開発から事業化までを支援
  - 1 各種助成事業……………P06
  - 2 日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)  
郡山サテライトの開設……………P06

### 人材育成・研究開発促進

- 産学官連携による人材育成  
「Meister's College(マイスターズ・カレッジ) 2016」……………P07  
ちびっ子マイスターズ・カレッジ2016……………P10  
中学生向け医工連携人材育成事業  
“医療の道を歩む、未来への第一歩”……………P10
- 研究開発・事業化支援  
技術コーディネーターの企業訪問を通じた支援  
ー産学連携コーディネート業務ー……………P11  
再生可能エネルギー利用次世代型農業施設の活用……………P11

### 起業家育成・起業化支援

- 1 企業連携の促進
  - 郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議……………P12  
研究開発推進部会  
ー3フォーラムの開催ー……………P14
  - アドホック研究会……………P16
- 2 ICTを核とした産業の振興
  - 郡山オープンイノベーション(KOI)会議……………P17  
郡山市、会津大学、郡山地域テクノポリス推進機構 三者協定
- 3 受発注機会の創出
  - 郡山地域ものづくり受発注商談会……………P18
  - ICT活用による商談の機会(リンカースの活用)……………P18
- 4 平成29年 新春講演会……………P18

### 郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

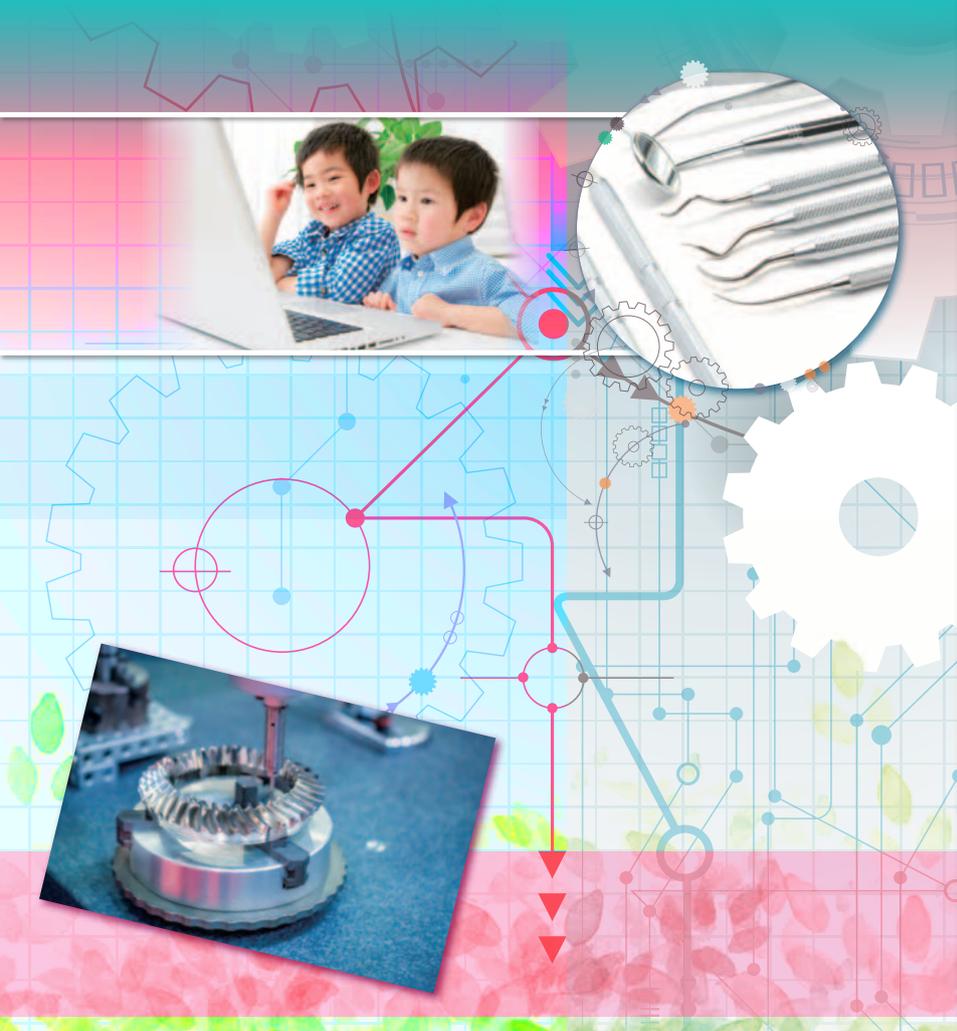
- ICT交流事業、情報化人材育成・研修事業……………P19
- 平成29年度の主な事業・イベント……………P20

### 関連事業

- サイエンスツアー(くらしの工学を学ぼう)……………P21
- こおりやま産業博……………P21
- ふくしま復興・再生可能エネルギー産業フェア2016……………P21
- メディカルクリエーションふくしま2016……………P21
- 江原医療機器展示会 GMES2016(韓国)……………P21

### テクノインフォメーション

- 平成28年度 理事会等の開催報告……………P22
- 平成29年度の主な事業・イベント……………P22
- 役員・職員等の紹介……………P23



### ごあいさつ

## 「役立つ機構であり続けるため」

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 理事長 滝田康雄…………… P01

### 特別寄稿

## 「工学部開設70周年」

日本大学 工学部長 出村克宣…………… P02

## 役立つ機構であり続けるため

公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構

理事長 滝田 康雄



東日本大震災及び原子力災害から6年が経過し、圏域内では、産総研「福島再生可能エネルギー研究所」の開所を皮切りに、国際原子力研究開発機構、国立環境研究所と連携した「福島県環境創造センター」、国内初となる大型動物の飼育実験機能を備えた「ふくしま医療機器開発支援センター」と国内を代表する機関が次々に開所し、さらに、「工業団地の造成」や「新駅の設置」、「スマートインターチェンジの整備」等、インフラや交通体系の整備も進められ、再生可能エネルギーや医療福祉機器、そしてロボットに関連する企業育成、企業集積が進められ、さらには航空宇宙関連産業への参入支援も加わり、ものづくり産業振興の大きなうねりの中にあります。

昨年度は、こうした状況に呼応し、さらには当機構創立30周年を踏まえ、既存事業の拡充や新たに県内外から発注企業を招いた大規模受発注商談会を開催するなど積極的に事業に取り組んでまいりました。

当機構の設立原点は「ものづくり企業への支援を通じた福島県産業の振興」であります。

今年度も当機構の強みである三つの柱を中心に事業を展開してまいります。

一つには、「郡山地域ものづくりインキュベーションセンター」を核とした起業支援であります。

平成18年に日本大学工学部の敷地内に設置以来多くの企業に利用いただき、新製品開発や新分野進出のためにご利用いただいております。現在は再生可能エネルギーや医療機器関連の企業など10社が入居し11室全てご利用いただいております。

当該施設が持つ、大学等と連携し新製品の研究開発をする『場』、試作品づくりのための『設備』、経営・技術面からの『人材』、そして、研究開発の成果を広く発表する『機会』を提供し、企業支援を図ってまいります。

二つには、技術コーディネーターによる支援であります。

この4月からは、1名増員し7名を配置しています。

大手製造業での経験を活かした相談業務や、昨年後半からはICTによる受発注案件に対する企業訪問も増えており、関係機関と連携しマンパワーを活かした支援に力を注いでまいります。

三つには、産学官連携による支援であります。

連携に応える体制は整っておりますが、具体的進展が不十分なのは、企業の皆さんに機構の業務が知られていないという情報発信不足も一因かと思えます。

連携が進むよう、積極的な業務展開による「場」づくりに努めてまいります。

また、昨年12月には、新たに会津大学と郡山市、当機構の三者による連携協定が締結されました。この連携を契機に、会津大学の「知」も活用させていただき、ICT分野からの企業支援にも力を入れてまいります。

一方で、当機構の運営は、基本財産運用益の活用が基本になりますが、低金利、マイナス金利の中運用益確保が厳しく、昨年度は過去に蓄えた特定資産を一部取崩して対処したところであり、本年度もこの状況は続き、資産を一部取崩して運営することとしております。

今後とも運用益の面では厳しい状況が予想されますが、関係機関の企業支援施策も活用させていただきながら、圏域企業の研究開発促進や、新事業の創出育成、技術の高度化やそれを担う人材の育成、そしてこれら事業の推進のため産学官連携を積極的に推進し、産業界から必要とされる機構であり続けるための仕事をしてまいります。

関係各位のなお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

# 工学部開設70周年



日本大学 工学部長 出村 克宣

日本大学工学部は開設70周年を迎える。本稿ではその歴史を振り返ると共に本学部の概要を紹介したい。

日本大学は、我が国の初代司法大臣・山田顕義伯爵を学祖とし、明治22(1889)年に日本法律学校として創立され、明治36(1903)年に日本大学と改称、大正9(1920)年、大学令により大学となった。

工学部は、昭和22(1947)年、現在のキャンパスである元海軍航空隊跡地とその施設に、日本大学専門部工科として神田駿河台から移設され、土木科、建築科、機械科、電気科、工業化学科で構成された。

開設からの主な出来事を挙げれば、次のようである。

- 1947年：日本大学専門部工科の設置認可により  
神田駿河台から移設(工学部開設)  
5月20日入学試験・同30日入学式
- 1949年：日本大学第二工学部が発足  
学科名称を土木工学科、建築学科、機械工学科、電気工学科、工業化学科とした。
- 1956年：1954年に駿河台で開講した教職課程のすべての講義を郡山で開講
- 1966年：学部名を工学部に変更
- 1970年：大学院工学研究科修士課程(現：博士前期課程)を設置
- 1972年：大学院工学研究科博士課程(現：博士後期課程)を設置
- 1993年：情報工学科の設置
- 1998年：電気工学科を電気電子工学科と改称
- 1999年：ロハスを教育・研究のキーワードとする
- 2000年：工業化学科を物質化学工学科と改称
- 2002年：次世代工学技術研究センター竣工
- 2003年：環境保全・共生共同研究センター竣工
- 2006年：70号館(教室棟)竣工
- 2010年：物質化学工学科を生命応用化学科と改称
- 2011年：東日本大震災
- 2013年：臨床工学技士課程を設置

現在の工学部は、土木工学科、建築学科、機械工学科、電気電子工学科、生命応用化学科、情報工学科及び、工学の基礎教育を担当する総合教育で構成され、大学院は、学科と同様の名称を冠した大学院工学研究科博士前期・後期課程6専攻で構成され

ている。更に、全学科対象の教職課程と機械工学科・電気電子工学科対象の臨床工学技士課程を有している。なお、大学組織は、学生の教育と研究活動にあたる教員組織とその支援・管理運営組織としての事務局で構成されており、教職員一丸となって教育・研究活動に取り組んでいる。

昭和22年の工学部開設以来の69年間において、工学部卒業生・工学研究科修士生数は58,000名に達し、国内外の様々な分野で活躍している。平成28年度における就職率は、学部卒業生99.5%、大学院修士生100%であった。

一方、大学院生も含めた現在の学生数は約4,800名、その約7割が工学部周辺のアパート・下宿住まいである。又、学生支援の一環として、郡山市内の指定病院のご好意により、学生の医療負担が原則ゼロの学生医療割引制度も設けている。教育・研究プログラムとしては、地元企業でのインターンシップ、学校・医療機関での教育実習や臨床実習、関連研究機関や企業との共同研究などを実施させていただいている。

これらのことも含めた開設以来の教育・研究活動の発展と、特に、2011年3月に発生した東日本大震災とそれに伴う原発事故を乗り越えて、日本大学工学部が今日あるのは、福島県・郡山市などの行政・教育機関はもとより、郡山商工会議所、郡山地域テクノポリス推進機構、地域の医療・研究機関や企業をはじめとする数多くの学外組織・機関並びに、地域の皆様のご理解とご支援によるものであり、ここに記して謝意を表する次第である。

今年も郡山のいたる所で桜満開の時期を迎え、郡山市観光協会発行の「さくら物語」には「日大の桜」も紹介されている。「日本大学工学部三十年史」には、「正門を入り、海軍航空隊が植えた桜の並木に沿って…」と記されている。工学部では本年、三春滝桜の実生(種から育てた苗)から大きく育った枝垂れ桜2本を提供いただき、本館南側と教室棟北側の日当たりのよい場所に植えさせていただいた。それらの桜の成長と共に、今後とも、日本大学工学部の知的財産の活用を念頭において、郡山地域テクノポリス圏域の皆様と連携した諸活動を展開したい。



## 郡山地域テクノポリス推進機構

— ベンチャー精神あふれる企業を支援します —

### 沿革

1986(昭和61年)3月に、福島県、テクノポリス圏域6市町村(郡山市・須賀川市・鏡石町・玉川村・石川町・三春町)、圏域内企業の基金造成(基金造成約15億円)により設立。

### 方針と活動

福島県商工業振興基本計画(平成25年3月策定)に掲げる成長産業分野を中心に、研究開発型企業の支援、ものづくり拠点の形成などに関する事業に取り組んでいます。

- 輸送用機械・半導体
- 再生可能エネルギー
- 医療・福祉機器
- ICTを活用した産業振興
- 地域産業の六次化

### 事業の柱と平成29年度の主な事業一覧

#### 外部環境への対応

- 「産総研福島再生可能エネルギー研究所」「ふくしま医療機器開発支援センター」「福島県環境創造センター」の国内を代表する3施設の開所
- 「再生可能エネルギー」「医療福祉機器」「ロボット」「航空宇宙」等、新産業の育成・集積
- 圏域内における「工業団地の造成」「新駅の設定」「スマートインターチェンジの整備」等、インフラ整備の加速化

#### 基本方針

#### 事業

技術の高度化やそれを担うものづくり人材育成

圏域企業の研究開発の促進

新事業の創出育成

### 新事業創出支援施設の管理運営

新事業創出育成事業

### 人材育成・研究開発促進

技術振興事業

### 起業家育成・起業化支援

地域技術起業化推進事業

1

### 「ものづくりインキュベーションセンター」を核とした新事業創出・育成支援



1

### 産学官連携による人材の育成



2

### 研究開発・事業化支援



1

### 企業連携(アライアンス)の促進



2

### ICTを核とした産業の振興



3

### 受発注機会の創出

#### 新規事業

- 「郡山オープンイノベーション(KOI)会議」の開催: 郡山市・会津大との包括連携協定締結に基づく
- 企業間の受発注推進: 受発注商談会の開催・マッチングプラットフォーム「リンカース」の活用

#### 拡充事業

- 「中学生向け医工連携人材育成事業」の継続実施
- 「マイスターズ・カレッジ」の講座内容拡充: ファンダメンタルテクノロジーコースを新設

## 機構設立30周年 記念事業

昨年度は機構設立30周年にあたり、その記念として、新規事業や既存事業の拡充などに取り組みました。

### ①新事業創出育成事業

インキュベーションセンターの活用について特に医療福祉機器製造企業等へ積極的にPRを行った結果、2社が新たに入居しました。

### ②技術振興事業

・ **マイスターズ・カレッジ** (産学連携製造技術人材育成事業) の充実 (2コース → 3コース)

…医療関連人材育成として、メディカルテクノロジーコース新設

・ **ちびっ子マイスターズ・カレッジ** (開催場所の増)

募集人員を大幅に超える応募により各コース対象人員を増して実施しました。

【コンクリート探検隊!】募集40名に対し、97名が参加。／【コンピューター動かし隊!】募集3会場60名に対し、98名が参加。

・ **中学生医工連携人材育成事業** (新規事業)

募集24名に対し91名の応募。(会場の都合から)27名で実施しました。

### ③地域技術起業化推進事業

・ **受発注商談会** (12月2日開催、新規事業) …発注企業26社、受注企業61社参加

・ **産業支援機関との連携** (一部新規) …産業技術総合研究所福島再生可能エネルギー研究所のシーズと企業ニーズの橋渡しを行いました。

## 重点事項

### 研究開発の「場」・「設備」・「機会」・「人材」による支援

#### NUBIC (日本大学産官学連携知財センター) の開設



#### 最近の 入居企業事例

- ①(株)ピーアンドエム: 走査型触覚顕微鏡の開発 (2009年度 日刊工業新聞賞受賞)
- ②(株)向山製作所: 生キャラメルの開発…郡山表参道カフェのオープン 他
- ③(株)神田産業(株): パーソナル防音室「だんぼっち」の開発  
「移動型ER」が「移動型手術室及び移動型室内において使用する医療機器開発」として補助事業に採択
- ④(株)ニチオン: 内視鏡下用パワーアシスト鉗子の開発  
2015年4月郡山市内工業団地に製造工場建設

### ①マイスターズ・カレッジの実施(中核ものづくり人材の育成):

「日本大学工学部」「会津大学」「テクノアカデミー郡山」と連携した人材育成支援

〈マイスターズ・カレッジ2016〉

参加者数(企業数): 34人(25社)

### ②小中学生向けマイスターズ・カレッジの実施:

「ちびっ子マイスターズ・カレッジ(小学生)」「中学生医工連携人材育成事業」



### ①技術コーディネーターの 企業訪問を通じた支援

### ②産学官連携による支援 (橋渡し機能の強化)



〈技術コーディネーターによる相談企業数〉平成28年度: 108社

〈産学連携実績数(共同研究等含む)〉平成28年度: 4件

### 3フォーラムの開催、企業製品・研究成果発表会の開催

【3フォーラム】=

①サステナブル地域づくりフォーラム ②健康医療福祉産業創生フォーラム ③イノベーションテクノロジーフォーラム

〈アライアンス形成会議〉

会員数: 51人(平成29年4月現在)



### 郡山オープンイノベーション会議(KOI会議)の開催

(会津大学、郡山市及び郡山地域テクノポリス推進機構の三者による包括連携協定に基づく)



受発注商談会の開催 / ICT活用(リンカーズ(株))



## 組織体制の強化

- 技術コーディネーターの拡充: コーディネーター7名体制  
※各分野に精通した技術コーディネーターによる企業支援の充実・強化

## 広報事業の推進

- 機関誌「サザンクロス」発刊等による広報活動の実施: サザンクロス(年1回) / テクノポリスだより(毎月発行)
- ウェブサイトによる開催事業等の広報: 各種事業、イベント等の案内
- メールマガジンの発行(月2回): 各種事業、イベント等の案内
- 各種展示会等への出展: REIFふくしま、メディカルクリエーションふくしま、こおりやま産業博



起業化支援

ものづくりインキュベーションセンターの設置・運営

ものづくり  
インキュベーション  
センター  
建物外観



当機構では、国、福島県、郡山市、日本大学工学部等の助成を受け、平成18年8月に「郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター」を日本大学工学部キャンパス内に建設し、その運営・管理と関係機関との連携を行っています。当インキュベーションセンターは、“ものづくり”による新たな産業の創出を促進するための支援施設で、企業支援室[11室]のほか、研究開発による試作品を製作するための工作機械を備えた「試作センター」や40人収容可能な「会議室」を併設しています。

支援メニュー

研究開発による新製品の創出、起業化・事業化の成功率を高めるため、試作品等を設計・製作する「場」、試作に必要な基本的「設備」、及び技術のハード/ソフト両面で支援・コーディネートする「人材」、そして入居者による研究開発の成果を広く発表する「機会」を提供します。

場

研究開発の拠点として、低廉な料金で入居でき、24時間365日利用可能な起業支援室[実験室タイプ(2室)/事務室タイプ(9室)]、試作センターや会議室、展示コーナーを設置しています。

設備

「試作センター」には試作品等の製作に必要な各種工作機械や高精度立体加工用マシンニングセンタ等を、「会議室」には映像/音響設備等を備えています。

機会

入居者等の研究開発事業の成果を金融機関やマスコミ等に広く周知し、起業化・事業化を支援するための「成果発表会の開催」や「展示コーナー」に成果品展示などの機会を提供します。

人材

- ・インキュベーションマネージャーによる入居者等への研究開発・事業化支援や、専門家を配置し様々なサポートをハード・ソフトの両面から提供するとともに、郡山地域を中心とした大学の知的財産や産業支援ネットワークを活用して入居者等の要望に応じて、技術シーズの事業化を支援しています。
- ・管理員/技術コーディネーターによる当施設/設備の管理、研究開発/技術の起業化に係る助成/補助事業へのコーディネーション、各技術/産業分野の研究会やセミナーの開催、大学や公設試験研究機関等の研究者との連携や郡山テクノポリス圏域企業によるアライアンス(企業間連携)形成への支援をします。



起業支援室(実験室タイプ)



起業支援室(事務室タイプ)



試作センター



成果品展示コーナー

展示コーナーのご案内

当施設1階にある「展示コーナー」に、卒業企業等の研究成果を展示してありますので、ぜひご覧ください。

安心ひつじ[睡眠センサー]  
センサーネットワークのホームゲートウェイ装置 (株)テレジャパン

メカピューティー[メカブ(和布蕪)サプリメントの錠剤化] (株)メティファム (卒業企業)  
大陽癌自己検査キット

乳がんチェッカー (株)タウザー研究所 (卒業企業)

手術用バスケットワイヤーカテーテル (株)ウィルファイン (卒業企業)

二段ベット[強化ダンボール ハニリアル材使用] 神田産業(株) (卒業企業)  
だんぼっち[同ハニリアル材使用 個人用防音室]

内視鏡下手術用針状把持鉗子

(株)ニチオン (卒業企業)

かため太郎 オバナヤ・セメントックス(株) (卒業企業)  
[一液温気硬化型エポキシ樹脂簡易コンクリート補修材]

生キャラメル (株)向山製作所 (卒業企業)  
[6種類のフレーバー生キャラメル]

Genius Tone (株)タウザー研究所 (卒業企業)  
[聴覚感度調整装置とヘッドホーン]

最小侵襲手術用スウィング鉗子 (株)フツロ (卒業企業)

MBES バイオマスガスステーション SAISEI合同会社

## 入居者紹介(平成29年5月現在)

起業支援 室No.	入居企業名	業種等	本社	入居日	主な研究開発テーマ	会社PR
1 2	エコポンド環境工学 リサーチ株式会社	放射能除染業 (除染技術の高度化研究 開発・施工)	郡山市	平成24年 9月3日 平成26年 3月14日	①「イオン・ポリオン工法」による水処理技術 の開発と高度化事業 ②湖沼・溜池放射能汚染底土の回収装置開発等	除染技術の高度化に取り組み、新しい開発技 術を持って社会に貢献したい。
3	福島再生可能 エネルギー株式会社	環境・エネルギー 関連技術開発業	郡山市	平成26年 5月21日	①移動式半炭化装置の開発 ②マイクロ水力発電機の開発 ③エネルギーマネジメントの研究	再生可能エネルギーと地球環境にやさしい技 術で低炭素社会と資源循環の実現を目指して います。
4	株式会社アスター	輸送機械関連産業	横手市	平成29年 4月1日	高効率モーターコイルの研究開発	常に新しい発想。常に最上の品質追求。未来を 創る企業として、確かな技術と工程管理で高 品質の製品をお客様に提供します。
5	株式会社 マイステック	医療機器 製造販売業	郡山市	平成28年 7月11日	脊椎手術用開創器システムの 開発・製品化	Made in Japanによる手術器械の 開発とブランド化を目指しています。
6	株式会社 スキプレシオン	医療機器 製造販売業	鹿沼市	平成28年 9月1日	外科診療における腰椎、椎間板ヘルニア最小 侵襲手術に有効な「高機能型経皮的外科手 術用鉗子」などの開発	高度化するお客様のニーズに応えるため、これまで 培った切削加工技術と最新鋭の加工設備を融合し、よ り良い製品を提供し続けることを使命としています。
7	株式会社 アグリクラスター	熱エネルギー設計 コンサルタント業	さいたま 市	平成27年 9月1日	効率的未利用熱エネルギーの調達方法に ついての設計ガイドラインの確立	地中熱など未利用の熱エネルギーを有効活 用するシステムを開発、設計しています。
8	株式会社 テレジャパン	情報通信業	郡山市	平成24年 9月10日	睡眠センサーの開発及びメッシュセンサー ネットワークの研究と実用化	インターネットには繋がっていない、IP網での 技術サービス提供に努めています。
10	水野 睦夫	建設業 (建設資材の販売と施工)	郡山市	平成27年 4月1日	コンクリート等のカビ・バクテリア繁殖防 止、劣化を防止する石質改質剤の研究開発 及び事業化	今までに無い抗菌剤による石質改質剤の研 究・開発・販売に取り組んでいます。
11	SAISEI合同会社	製造・サービス業 (バイオマスによる メタン分析装置の開発)	郡山市	平成27年 6月2日	メタン分解装置の商品化に向けての開発 促進	バイオマス等自然エネルギー源の開発に関す る分散型電源システムのプロデュース及び販 売を目指しています。

新製品開発から事業化までを支援

## 平成29年度 各種助成事業募集のお知らせ

テクノポリス圏域内企業や企業グループ(産学連携を含む)等の研究開発や起業化の取組みを支援するため、各種助成事業を設けています。

## 1 F/S支援事業

研究開発や新事業創出等の成功率を上げるために、開発に着手する前段のフィージビリティスタディ(実現可能性・起業化可能性の調査検討=F/S)を行う場合に経費の一部(助成対象経費の2/3以内で100万円を限度)を助成します。

## 2 研究開発助成事業

新技術または新製品の開発、生産工程の合理化または製品の付加価値化、これらに類する技術の高度化に関する研究開発を行う企業、共同研究グループに対して、研究開発に要する経費の一部(助成対象経費の2/3以内で200万円を限度)を助成します。

## 3 地域技術起業化助成事業

技術革新の進展に即応した技術を製品化・商品化するため、その事業に向けて必要な商品開発、情報収集、市場開拓等の事業を行う企業や共同研究グループに対して起業化に要する経費の一部(助成対象経費の2/3以内で300万円を限度)を助成します。

※その他、債務保証事業、新技術・新製品市場開拓支援事業等があります。詳しくは、当機構にお問い合わせください。

平成28年度  
助成対象企業  
F/S支援事業

**申請者** 株式会社 アグリクラスター(INC入居企業)  
**テーマ** 再生エネルギーを活用した「シイタク高度化生産支援システム」構築による高収益の実現  
**事業内容** 国内市場への供給不足が課題となっている安全で高品質な国産の「シイタク」を当社がもつノウハウとしてのIoT技術と再生可能エネルギーを活用し通年で安定的に供給できるシステムを確立・運用することにより、課題解決に寄与し、高収益を実現することが可能か検証する。  
**事業実施期間** 平成29年 4月1日～平成29年 6月30日

新製品開発から事業化までを支援

## 日本大学産官学連携知財センター(NUBIC) 郡山サテライトの開設

当機構と日本大学の連携により、郡山地域における知的財産・産学官連携活動を活性化し、日本大学と企業間の共同研究、技術移転等を通じて地域産業の発展・振興に寄与するため、「郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター」内に「NUBIC郡山サテライト」を平成19年7月から開設し、地域企業の皆様の技術開発等に係る相談に応じています。(平成28年度実績:11件)

また、直接企業を訪問する『出前セミナー in企業』も開催しています。(平成28年度実績:1件)

主な相談内容

- ・日本大学に属する研究者、研究シーズ、知的財産等の紹介、共同研究、技術指導等の斡旋
- ・知的財産制度、その運用等に関する情報提供
- ・研究開発支援制度、産学連携支援制度等の紹介 など

【開設日時】:毎月第4水曜日 午前10時から午後4時まで。相談は無料です。事前申込みが必要です。  
 【開設場所 及び申込み先】:郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター  
 【電話】024-926-0344  
 【E-mail】monodukuri@nm.net6.or.jp

※「出前セミナー in企業」を希望される企業については、開催日時等について調整が必要となりますので、事前にご相談ください。



NUBIC郡山サテライト



NUBIC出前セミナー in 企業



産学官連携による人材育成

## 「Meister's College 2016」(マイスターズ・カレッジ2016)

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構では、ものづくり中小企業の中核となる技術者の方々を対象に、日本大学工学部・福島県立テクノアカデミー郡山等との産学連携により、基盤的製造技術の高度化を図る人材育成事業として、平成18年度から継続開催している「Meister's College」(マイスターズ・カレッジ)を実施しました。

今年度は、「イノベーションマスターコース」、「マシニングセンターコース」のほか、医療機器関連をテーマとした「メディカルテクノロジーコース」を新設し、合わせて3コースで実施しました。9月12日には、3コース合同による開講式を開催し、当機構の齋藤常務理事が「機構の設立30周年を記念しメディカルテクノロジーコースを新設した。多くの技術を学んでほしい」と挨拶しました。

また、出村克宣日本大学工学部長、岡部 隆テクノアカデミー郡山校長が祝辞を述べました。開講式後、日本大学工学部機械工学科教授 武藤伸洋 氏による基調講演「工学の中から一般の生活空間に活躍の場を広げるセンサ・ロボット・ICT技術」を行いました。

### メディカルテクノロジーコース

#### 医療機器手仕上げ職人の育成

このコースはものづくりインキュベーションセンター入居企業の株式会社マイステックの協力のもと産学官連携によるカリキュラムとなりました。

今回は医療分野の中でも手術用鋼製器械に着目し、座学では出沢明PEDクリニックの出沢院長に現場での手術用鋼製器械の重要性を学んだほか、株式会社田中医科器械製作所から講師をお招きし、医療器械に使用される材料の知識を学びました。実習では、一つの医療器械の作製手順を学ぶことができるカリキュラムとなっており、3D-CADによる製図や汎用機の操作、手仕上げ技術の体験等を学びました。

■ 受講対象者：金属、機械、精密加工業等に携われる方 ■ 受講者数：11名

#### ■ 研修内容等

講座名	日程	時間	場所	講師
開講式	9/12(月)	18:00~18:30	日本大学工学部 本館3階 第1会議室	—
基調講演/オリエンテーション		18:30~19:30		日本大学工学部 教授 武藤伸洋 氏
手術用鋼製器械とは? [座学]	10/25(火)	18:00~21:00	インキュベーションセンター 会議室	出沢明PEDクリニック 院長 出沢明 氏
医療器械に使用される材料の知識 [座学]				田中医科器械製作所
課題製品の採寸と製図(3D-CAD) [実習]	10/27(木)	18:00~21:00	福島県立 テクノアカデミー 郡山	福島県立テクノアカデミー郡山 教務主任 成瀬哲也 氏
汎用機の操作 (旋盤、ワイヤーカット) [座学・実習]	11/1(火)	18:00~21:00		元郡山地域テクノポリス推進機構 技術コーディネーター 中井浩二 氏
	11/4(金)	18:00~21:00		福島県立テクノアカデミー郡山 教務主任 成瀬哲也 氏
	11/8(火)	18:00~21:00		
日本製手術用鋼製器械の特徴(手仕上げ) [座学]	11/10(木)	18:00~21:00		田中医科器械製作所
			11/15(火)	
	11/17(木)	18:00~21:00		
閉講式~交流会	11/25(金)	18:00~20:00	閉講式:日本大学工学部本館3階第1会議室 交流会:日本大学工学部情報研究棟(55号館)8階レストラン	



座学



汎用機の操作



手仕上げ技術

## イノベーションマスターコース

### 再エネ、省エネの基礎と浅部地中熱を学ぶ

「イノベーションマスターコース」は、～再エネ、省エネの基礎と浅部地中熱を学ぶ～ をテーマに日本大学工学部 小熊正人特任教授を筆頭に分かり易く説明していただきました。

このコースは座学がメインとなりましたが、11月16日に郡山市湖南町の旧赤津小学校を活用した研究施設「郡山市・日本大学工学部再生可能エネルギー共同研究施設」を訪問し、座学で学んだことを実際の現場を視察することで更に理解を深めることができました。

- 受講対象者：工務店やハウスメーカーなど実際に施工に携われる方（建築設計者を含む）
- 受講者数：14名

#### ■ 研修内容等

講座名	日程	時間	場所	講師	
開講式	9/12(月)	18:00~18:30	日本大学工学部 本館3階 第1会議室	—	
基調講演/オリエンテーション		18:30~19:30		日本大学工学部 教授 武藤伸洋 氏	
地中熱利用システムとは?	10/5(水)	18:30~20:00	インキュベーション センター 会議室	日本大学工学部 特任教授 小熊正人 氏	
地中熱利用システムの課題と その解決方法	10/7(金)	18:30~20:00			
地熱利用システムの主要構成要素	10/12(水)	18:30~20:00			
浅部地中熱利用システムの 実施事例ならびに計画	10/14(金)	18:30~20:00			
地中熱利用の設計方法とそのポイント	10/19(水)	18:30~20:00			
地中熱利用が寄与する省エネルギー	10/26(水)	18:30~20:00			一般財団法人省エネルギーセンター 鈴木伸隆 氏
地中熱リファレンスマップとは?	10/28(金)	18:30~20:00			日本大学工学部 研究員 安藤広一 氏
地中熱利用システムの展望と課題	11/2(水)	18:30~20:00			日本大学工学部 特任教授 小熊正人 氏
視察研修	11/16(水)	13:00~17:30			郡山市・ 日本大学工学部 再生可能エネルギー 共同研究施設 (旧赤津小学校・湖南)
閉講式～交流会	11/25(金)	18:30~20:00	閉講式：日本大学工学部本館3階第1会議室 交流会：日本大学工学部情報研究棟(55号館)8階レストラン		



座学



郡山市・日本大学工学部再生可能エネルギー共同研究施設 視察



郡山市・日本大学工学部再生可能エネルギー共同研究施設 視察

## マシニングセンタコース

### 3DプリントにおけるCADデータの作成とCAM/MCによる実加工

「マシニングセンタコース」は、福島県立テクノアカデミー郡山の先生方と民間企業の方々を講師に迎え、延べ9日間にわたり、研修を行いました。座学と実習を織り交ぜたカリキュラムとなっており、マシニングセンタに関する三次元CAD/CAMについて説明を受けた後、実際にソフトウェアを使ってプログラミングを行いました。その後、受講生を2グループに分けた少数精鋭により先に組んだプログラムを基に、2時間の実機操作を体験しました。最後に、民間企業の方々を講師に招き、マシニングセンタで使用する工具(刃物)の使用方法や段取り操作改善の手法などについて、実習を交えて学習しました。

- 受講対象者: 金属、機械、精密加工業等に携われる方
- 受講者数: 8名

#### ■ 研修内容等

講座名	日程	時間	場所	講師
開講式	9/12(月)	18:00~18:30	日本大学工学部 本館3階 第1会議室	—
基調講演/オリエンテーション		18:30~19:30		日本大学工学部 教授 武藤伸洋氏
「3Dプリンタを用いた試作と CAMによるプログラミング」: 18時間 【授業内容】 ◦ 「CAD&3Dプリンタ」: 9時間 ◦ 「CAM&3Dプリンタ」: 9時間	9/15(木)	18:00~21:00	福島県立 テクノアカデミー 郡山	福島県立 テクノアカデミー郡山 精密機械工学科 教務主任 雁部 剛氏 教務主任 成瀬 哲也氏
	9/20(火)	18:00~21:00		
	9/27(火)	18:00~21:00		
	9/29(木)	18:00~21:00		
	10/4(火)	18:00~21:00		
マシニング操作: 2時間 ◦ 2コースに分かれる	10/11(火) (Aコース)	18:00~20:00	インキュベーション センター 試作センター	民間技術者等
	10/13(木) (Bコース)	18:00~20:00		
工具(刃物)の知識: 4時間	10/18(火)	18:00~20:00	インキュベーション センター会議室	民間技術者等
	10/20(木)	18:00~20:00		
閉講式~交流会	11/25(金)	18:00~20:00	閉講式: 日本大学工学部本館3階第1会議室 交流会: 日本大学工学部情報研究棟(55号館)8階レストラン	



工具の知識



マシニング操作



座学



開講式



閉講式

#### 予告 平成29年度の マイスターズ・カレッジは

「マシニングセンタコース」「メティカルテクノロジーコース」は、「ファンダメンタルテクノロジー(基礎技術)コース」に生まれ変わります。詳細は、決まり次第お知らせします。

産学官連携による人材育成

## ちびっ子マイスターズ・カレッジ2016

【主催】コース1(コンクリート探検隊!):(公財)郡山地域テクノポリス推進機構・日本大学工学部  
コース2(コンピューター動かし隊!):郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

【実施日】コース1:平成28年 7月23日(土)・日本大学工学部70号館  
コース2:平成28年 7月23日(土)・WiZ 専門学校 国際情報工科大学校 2階201教室  
30日(土)・鏡石町図書館 会議室  
31日(日)・須賀川市産業会館 1階 会議室

【人数】コース1:児童97名・保護者79名/コース2:児童のみ98名



出村学部長の挨拶

今年は、当機構設立30周年、郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会20周年にあたることから、その記念事業として、コンクリートの世界を探検するコースとパソコンを組み立てる2つのコースを設け実施しました。

コンクリート探検隊!では、当初、児童数40名で開催予定でしたが、定員の約4倍の応募がありスケジュールを調整することで、児童数100名として実施しました。

講師の岩城教授からコンクリートの強度や研究内容について優しく説明を受け、その後、子供たちが工作(特殊セメントでキャラクター作り)やコンクリートの破壊実験などを通して身の回りにあるコンクリートについて、親子ともども理解を深める事ができました。この講座(コンクリート)で学んだ事を、夏休みの「自由研究」に活かす事ができるなど、楽しい1日を親子で過ごすことができ大変好評でありました。

コンピューター動かし隊!も当初、3回・計60名での開催予定でしたが、定員の3倍を超える応募があったため、急きょ増席して対応しました。

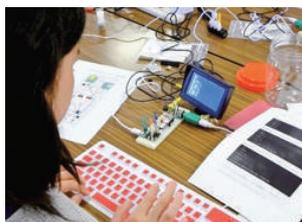
将来のICT人材育成を目標に子供向けパソコン「IchigoJam(いちごじゃむ)」のブレードボード版の組み立てからBASICを用いた簡単なプログラム体験までを、2時間の講座として開催しました。組み立ては難易度が高かったものの児童からは「コンピューターの仕組みがわかって良かった」「プログラムが楽しかった」との声が多く、保護者からも好評でありました。

平成29年度も小学生向けの企画を実施する予定です。

コース2

コンピューター  
動かし隊!

IchigoJamを組み立てる子供たち



「コンピューターの仕組みがわかった」と好評

コース1

コンクリート  
探検隊!

コンクリート破壊実験



質問に応える岩城先生



コンクリート流し込み

産学官連携による人材育成

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構  
設立30周年記念事業

## 中学生向け医工連携人材育成事業 “医療の道を歩む、未来への第一歩”

【主催】(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 【共催】日本大学工学部/ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)

【実施日】平成28年8月2日(火)

【場所】日本大学工学部次世代工学技術研究センター  
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 須賀川事業所  
【講師】日本大学工学部電気電子工学科 教授 酒谷 薫 氏  
ジョンソン・エンド・ジョンソン(株) 社員

当機構設立30周年記念事業として、中学生を対象に、日本大学工学部並びに民間企業の方々を講師に迎え、「医工連携に係る講義」や「模擬手術体験」等を通じて、「医療全般」について理解を深め、福島の将来を担う医工連携人材の育成を図る『中学生向け医工連携人材育成事業』を開催しました。

午前中の日本大学工学部では、脳外科医の酒谷教授から「脳や医療全般に関する講義」を受けた後、手術室の見学や脳波測定の実習を行いました。

午後からは場所を移し、ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)須賀川工場で、同社の製品を使った模擬手術体験を行い、参加した中学生は普段できない体験に、目を輝かせていました。

平成29年度も、中学生向けの事業を実施し、医工連携人材の育成に努めて参ります。

手術室見学  
(日本大学工学部)記念撮影  
(日本大学工学部)模擬手術体験  
(ジョンソン・エンド・ジョンソン(株))記念撮影  
(ジョンソン・エンド・ジョンソン(株))

研究開発・事業化支援

平成28年度 産学連携コーディネート業務

郡山市が、『コーディネーターによる潜在的成長力を有する企業の発掘、さらには、高等教育機関、産業支援機関及び公的研究機関が存在する郡山市の強みを生かしたマッチング等により再生可能エネルギー分野及び医療・福祉分野などにおける新たな事業や技術の創出を支援する。』ことを目的に実施した、公募型プロポーザル方式による委託業務を当機構が受託しました。

【発注者】郡山市 【件名】産学連携コーディネート業務  
 【受託期間】平成28年8月1日から平成29年3月17日まで 【事業実績概要】主な実績は以下の通り

1 市内企業に関する情報収集を行い、潜在的成長力を有する企業の発掘

郡山市内企業の訪問等を通じて、以下のリストを作成。

- ①潜在的成長力を有する企業リスト
- ②中核企業リスト
- ③外注企業候補リスト
- ④試作品製作可能企業リスト
- ⑤特定分野別企業リスト



産総研向け企業技術発表会

産学連携セミナー

2 企業、大学、研究機関等のニーズ・シーズ等の発表会等を開催

①産総研福島再生可能エネルギー研究所向け企業技術発表会の開催

再生可能エネルギー関連分野で技術力のある企業を対象に、産総研側との橋渡しを行いました。なお、発表した「福島再生可能エネルギー(株)」は、「産総研福島再生可能エネルギー研究所と『秘密保持契約』を締結しました。

【開催日時】平成28年9月29日(木)・・・(株)テレジャパン  
 平成28年10月3日(月)・・・SAISEI合同会社  
 福島再生可能エネルギー(株)

【開催場所】産総研福島再生可能エネルギー研究所

②産学連携セミナー

「中小ものづくり企業」の成長発展に努めている先進地域の実例紹介を含むセミナーを開催しました。

【開催日時】平成28年10月25日(火)

【開催場所】郡山商工会議所6階中ホールA 【参加者】63名

- 【講師】
- ・国立研究開発法人科学技術振興機構 産学連携展開部長 金子 博 氏  
 ～産学連携について(現状の課題と今後の展開)～
  - ・東成エレクトロピーム株式会社 代表取締役会長 上野 保 氏  
 ～TAMA協会の産学官金連携等の事例紹介～

3 市内企業と大学、公的研究機関等とのマッチング

①日本大学工学部との産学連携希望調査

「日本大学工学部」と「郡山地域企業」との連携構築を図るため、教員の「研究テーマ」や「産学連携意向」を調査し、大学と企業との橋渡し機能の強化を図りました。

【調査対象】日本大学工学部教員: 150名 【調査日】10月26日

この調査結果を基に、日本大学工学部溝口准教授と福島県ハイテクプラザとのマッチングを実施し、平成29年3月8日開催の「製造技術高度化研究会セミナー」に講師としてお招きすることになりました。

②マッチングプラットフォーム「リンクーズ」を活用した大手発注企業と市内企業とのコーディネート(平成28年12月～平成29年3月)

発注案件に係る郡山市内への紹介企業7社

③日本大学との知的財産・産学連携技術相談

NUBIC(日本大学産官学連携知財センター)郡山サテライト開催 【結果】技術相談6件 / 出前セミナー1件

研究開発・事業化支援

再生可能エネルギー利用次世代型農業施設活用・農業施設用ハイブリッド再エネ利用システムの実用化

再生可能エネルギーの推進として、農業用施設への再エネ利用システムの実用化に、当機構の企業が連携し、平成25年度から取り組みました。

【連携企業】株式会社内藤工業所  
 株式会社リゾーム  
 エスケー電子工業株式会社  
 【技術支援】日本大学  
 【関連機関】福島県産業創出課  
 【場 所】岩瀬牧場内

- 平成28年
- 4月: 営農型発電事業計画者の視察受入。海外エネルギー事業社と県産業創出課の視察受入。
  - 5月: 実用化のため椎草生産者へ地中熱の活用を提案するため生産現場で交流会を実施。
  - 7月: 日大創成学研究室の実験開始。
  - 8月: 首都圏及び地元学生の視察受入。
  - 9月: 椎草生産者との2回目の交流会を実施。
  - 10月: RIEF福島2016及びこおりやま産業博にてポスター展示。実験施設等説明用看板の設置。加温実験開始。
  - 12月: 地中熱エンジニアリング企業を交え椎草生産者と交流。
- 平成29年
- 3月: 日大創生学研究室実験終了

浅部地中熱で施設園芸の省エネ

**農業施設用ハイブリッド再エネシステムの研究施設**

再生可能エネルギー「浅部地中熱・太陽熱」での地温保持・空調制御を独自開発の「熱源・電源併用」を活用して行なう「ハイブリッド温室」を、次世代農業へ活用する研究を目的とした施設です。

**研究成果**

- ① ハイブリッド温室は一般温室と比較して省エネ効果が期待できる温室であり、暖房も省エネが図られます。このため省エネにつながります。
- ② 冬季のハイブリッド温室内の土壌温度も、暖房・新築期間により地温温室より高いことがわかりました。
- ③ 越冬栽培、暖房と冷房の両方に利用できます。暖房内温度を冷房することで省エネですが、暖房冷房などの経済的効果は発生が期待されます。
- ④ 地中熱システムはランニングコストが安く、ハイブリッド温室と組み合わせることによってコストも削減できることがわかりました。
- ⑤ 実験の結果、地中熱と組み合わせたハイブリッド温室は一般温室より20～30%以上の省エネ効果が期待できることがわかりました。(この数字は、暖房時のみで試算済み)

## 企業連携の促進

## 郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議

戦略的アライアンス形成会議は、郡山地域テクノポリス圏域などの中小製造業者が保有する技術力、設備、営業力等の潜在能力を戦略的に活用する組織(アライアンス)を構築することによって、高度な研究開発、新しい受発注及び各種産業振興支援施策の担い手となり、地域産業の活性化を図ることを目的としています。

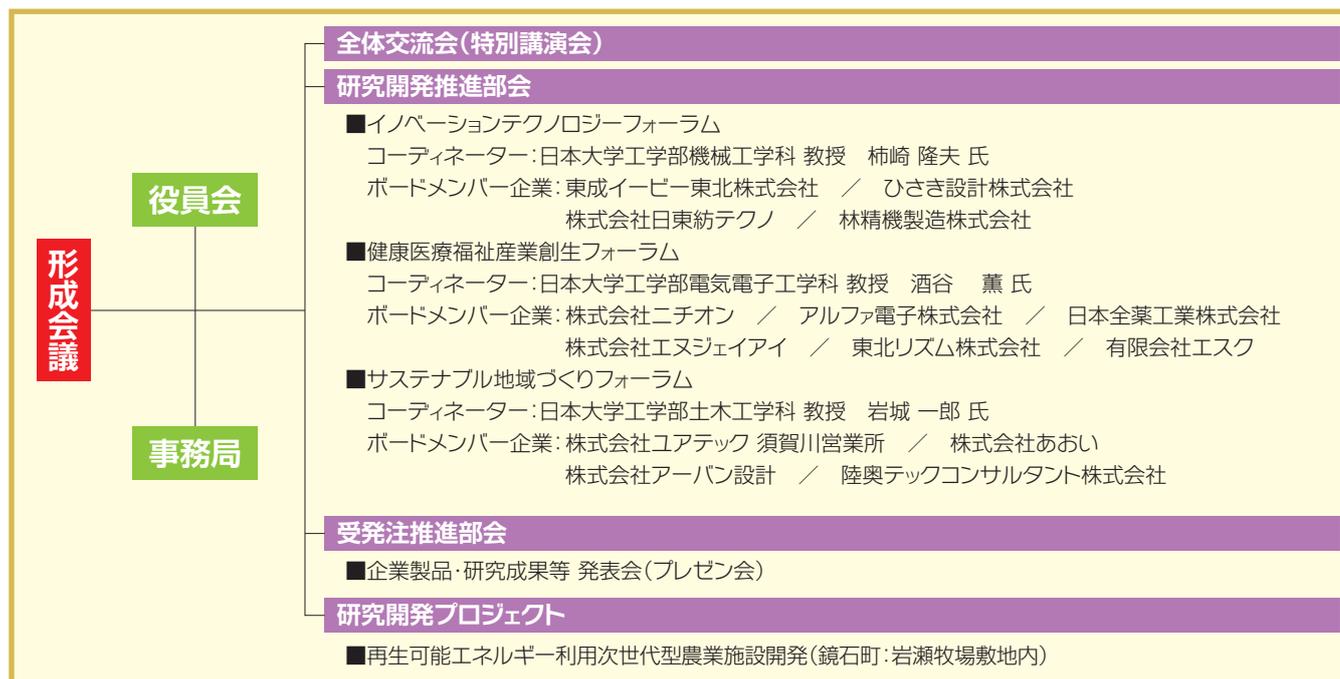
平成29年4月末現在、51社が参画しています。

平成28年度は、受発注の推進に向けた活動を強化し新たに企業製品発表会(プレゼン会)の拡充と当形成会議を広く知ってもらうため、特別講演会を開催しました。

多くの方に参加いただきました(特別講演会)



## ●事業体系



## ●事業方針

- ① 会員企業相互の強みを生かしたアライアンス(連携、協調)を強化することにより、新たに付加価値の創出を図るなど、技術力の向上と産業振興を目指す。
- ② 会員企業の技術連携を図り、高度技術や複合技術を必要とする難度の高い特注品・試作品・完成品等を含む受注の確保を目指す。
- ③ 会員企業の情報交換により、新製品・新商品の開発、ソフトウェアの開発、販売戦略などの成果実現を目指し、新事業の創出と活性化を図る。
- ④ 会員企業のアライアンス活動を通して、地域にアライアンス形成会議の知名度アップを図る。

※当形成会議への入会は随時受け付けています。詳しくは、テクノポリス推進機構事務局までお問い合わせください。

## 1

## 会議・交流会等の開催

## (1) 役員会

【開催日】平成28年 5月20日(水)  
平成28年 7月12日(火)  
平成29年 3月16日(木)

【会場】ビッグパレットふくしま ほか

【参加者】当形成会議役員

【内容】・27年度 事業報告及び収支決算報告について  
・28年度 事業計画(案)及び予算(案)について  
・28年度 役員(案)について  
・新規会員企業について ほか

第1回 役員会



**(2) 総会・交流会**

- 【開催日】平成28年 6月14日(火)  
 【会場】ホテルハマツ  
 【参加者】27名  
 【内容】・27年度 事業報告及び収支決算報告について  
 ・28年度 事業計画(案)及び予算(案)について  
 ・28年度 役員について  
 ・福島県の重点施策について  
 ～再生可能エネルギー関連産業の育成・集積に向けて～  
 (福島県産業創出課 主幹 渡部 修 氏)



総会

**(3) 特別講演会**

- 【開催日】平成29年 3月16日(木)  
 【会場】ホテルハマツ  
 【参加者】90名  
 【内容】当形成会議を広く知ってもらうため、会員以外も聴講できる講演会を開催しました。  
 講師には、慶大発ベンチャー企業「ヒューマン・メタボローム・テクノジーズ株式会社」を創業し、2013年に東証マザーズ上場を果たすとともに、人工クモ糸の「スパイバー株式会社」技術顧問である慶應義塾大学先端生命科学研究所 所長 富田 勝 氏をお招きし、ご講演いただきました。

**演題** 「地方から日本を変える  
 ～慶應鶴岡キャンパスの挑戦～」

**講師** 慶應義塾大学先端生命科学研究所 所長 富田 勝 氏



講演いただいた富田氏



会員からの質問も



講演会終了後には名刺交換に長蛇の列

**2****受発注推進部会**

受発注推進部会は、会員企業の有する技術、手法、情報、経験などを共有することで、アライアンス(企業連携)や受発注を推進するための部会です。好評の企業製品等発表会は、会員企業のみならず、高等教育機関や産業支援機関等からもプレゼンいただきました。

**(1) 第3回企業製品等発表会(プレゼン会)**

- 【開催日】平成28年 5月20日(金)  
 【会場】ビッグパレットふくしま 【参加者】43名  
 【内容】・高等教育機関等によるシーズ発表  
 日本大学工学部機械工学科 教授 武藤 伸洋 氏  
 ・会員企業による企業紹介  
 福島岩通株式会社(須賀川市) 代表取締役 永松 良輔 氏  
 三宝製薬株式会社 福島工場(白河市) 工場担当取締役 相楽 秀和 氏

日本大学工学部のシーズ発表会  
 (第3回企業製品等発表会)



多くの方に参加いただいた  
 第3回企業製品等発表会

**(2) 第4回企業製品等発表会(プレゼン会)**

- 【開催日】平成28年 9月 6日(火)  
 【会場】日本大学工学部 50周年記念館(ハットNE)  
 【参加者】32名  
 【内容】・高等教育機関等によるシーズ発表  
 日本大学工学部 工学研究所次長(機械工学科教授) 柿崎 隆夫 氏  
 ・会員企業による企業紹介  
 株式会社アグリクラスター(埼玉県さいたま市) 代表取締役 福宮 健司 氏  
 有限会社エスク(矢吹町) 代表取締役 高島 伸幸 氏

日本大学工学部を会場に開催  
 (第4回企業製品等発表会)



## 3

## 研究開発推進部会

戦略的アライアンス形成会議の研究開発推進部会では、産学官連携による研究開発体制の構築を目的に各種研究会活動を支援するとともに、大学等との連携により、技術シーズの紹介・提案、企業ニーズの大学等での検証、シーズとニーズのマッチングによる具体的な産学共同研究開発案件の掘り起こしなどを行っています。現在、分野別に「サステナブル地域づくりフォーラム」・「健康医療福祉産業創生フォーラム」・「イノベーションテクノロジーフォーラム」の3つの研究会が活動しています。

以下、これら研究会の活動状況を紹介します。

## 1 サステナブル地域づくりフォーラム

【主催】(公財)郡山地域テクノポリス推進機構・日本大学工学部工学研究所

地域住民の暮らしを支える社会インフラは、高度経済成長期に集中整備された道路や橋、上下水道施設、学校や庁舎等の老朽化が深刻化しています。また、中山間地では限界集落や災害時の孤立といった問題が顕在化することが予想されます。このような背景のもと、このフォーラムでは産学官が密接に連携しながら、地域住民とともに地域の強みや再生可能エネルギーを生かした持続可能で、自立した地域づくりを進めることを目的としています。



新たにコーディネーターに加わった  
朝岡准教授の講演

## 【第3回 サステナブル地域づくりフォーラム】～持続可能で自立した地域づくりを目指して～

【開催日】平成28年7月4日(月) 15:30～ 【場所】日本大学工学部50周年記念館3階AV講義室 【参加】140名

【内容】フォーラムでは、コーディネーター4名から研究成果をご説明いただくとともに、サステナブルな地域をつくるための今後の展望についてお話しいただきました。

【コーディネーター】日本大学工学部 土木工学科 教授 岩城 一郎 氏

【内容】・第1部

演題1:「水資源・水災害における気候変化の影響とサステナブルな適応策」〈講師〉日本大学工学部 土木工学科 准教授 朝岡 良浩 氏

演題2:「ロハスのトイレシステムの実現に向けて」〈講師〉日本大学工学部 土木工学科 教授 中野 和典 氏

演題3:「小規模集落における地域交流施設の計画と運営」〈講師〉日本大学工学部 建築学科 准教授 浦部 智義 氏

演題4:「地域の橋はみんなで作る～橋梁日常点検チェックソートの考案と将来展望～」〈講師〉日本大学工学部 土木工学科 教授 岩城 一郎 氏

・第2部:意見交換会

## 2 健康医療福祉産業創生フォーラム

【主催】公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構・日本大学工学部工学研究所

【共催】日本生体医工学会専門部会「Active agingを支援するバイオメディカル工学研究会」

## 【第3回 健康医療福祉産業創生フォーラム】

健康医療福祉産業創生フォーラムは、当機構と日本大学工学部工学研究所が主催、「次世代ヘルスケアシステムによる健康・予防の実現に向けて～郡山のモデル推進について～」をテーマに行いました。

【開催日】平成28年7月29日(金)

【場 所】日本大学工学部次世代工学技術研究センター 【参加】約90名

【内容】・第一部:①「郡山市における次世代健康管理システム」

〈講師〉郡山市保健福祉部 地域包括ケア推進課長 安藤 博 氏

②「機能性食品・サプリメントの適正使用による健康寿命の延伸

－健康長寿社会の実現に向けたヘルスケア企業の取組み－

〈講師〉健康科学大学教授・(株)DHC顧問 蒲原 聖可 氏

・第二部:パネルディスカッション 〈パネリスト〉酒谷教授 及び講師2名



安藤課長 講演



蒲原教授 講演



パネル  
ディスカッション

## 【第4回 健康医療福祉産業創生フォーラム】

このフォーラムでは、「明日の健康長寿社会を目指して～郡山モデル実現～」をテーマに講演及びパネルディスカッションを行いました。

【開催日】平成28年12月9日(金) 【場所】日本大学工学部次世代工学技術研究センター 【参加】約55名

【内容】・第一部:基調講演中央大学理工学部 人間総合理工学科 大橋 靖雄教授より

「健康情報は信じられるか?

きぼうときずなプロジェクトとふくしま復興の未来」と題して、講演をいただきました。

・第二部:パネルディスカッション(パネリスト以下4名の講師による講演をいただきました。)

日本大学工学部 電気電子工学科 教授 酒谷 薫 氏

「明日の健康長寿社会を目指して」

ゼビオコーポレート(株) 執行役員 澤 尚幸 氏

「こどもの目線からみる地域活性化」

健康科学大学教授・(株)DHC研究顧問 蒲原 聖可 氏

「公民連携による健康づくり事業・介護予防施策

および健康寿命延伸産業創生への取り組み」

(株)エヌジェイアイ 社長 橋本 弘幸 氏



大橋教授 講演



蒲原教授 講演



パネルディスカッション

### 3 イノベーションテクノロジーフォーラム

【主催】(公財)郡山地域テクノポリス推進機構  
日本大学工学部工学研究所

当フォーラムは、(公財)郡山地域テクノポリス推進機構と日本大学工学部工学研究所との共同で主催するフォーラムです。震災後のふくしまを牽引する「新しい産業の創出」や「テクノポリス圏域を中心とした企業の技術力向上」を目指し、「国内外の最新技術」や「国内外のトレンド」等、圏域企業に有益な最新情報の提供を行い、圏域企業の新製品・新技術開発を促進させることを目的としております。

#### 「平成28年度 イノベーションテクノロジーフォーラム」

【開催日】平成28年8月5日(金)

【場 所】東成イービー東北株式会社(ボードメンバー企業)

【参加者】13名

(フォーラムコーディネーター、サブコーディネーター、ボードメンバー企業、行政)

【内 容】ボードメンバー企業である東成イービー東北株式会社の工場をコーディネーター、サブコーディネーター、行政の皆様方で視察し、その後、参加者全員で、工場見学を踏まえた意見交換会を開催しました。



開催風景

企業連携の促進

### 産・学・官連携フォーラム

【主催】日本大学工学部工学研究所・公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構  
郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

#### 「第17回 産・学・官連携フォーラム」

「続・健全で持続可能なふくしまの実現を目指して」-新設された3つのフォーラムのこの1年とこれから-をメインテーマに、各フォーラムのコーディネーターより1年の活動報告と今後に関する話題提供を行いました。

また、各フォーラムを代表して、山形大学大学院理工学研究科 教授 古川英光 氏が3Dプリンターについて、郡山市下水道部下水道維持課 課長 大竹伸裕 氏が下水道事業に関する連携協定について、郡山市保健福祉部 地域包括ケア推進課 課長 安藤博 氏が「地域包括ケアの課題と展望について、ご説明いただいたほか、金融機関を代表して株式会社東邦銀行 法人営業部 部長 渡邊貴志 氏から東邦銀行の取り組みについて、説明いただきました。

最後に日本大学工学部 機械工学科 教授 柿崎 隆夫氏を座長として上記の話題提供者とともにパネルディスカッションを行いました。

#### ●各フォーラムよりこの1年の活動報告と今後に関する話題提供

①サステナブル地域づくりフォーラム

講師 ▶ 日本大学工学部土木工学科 教授 岩城 一郎 氏

②健康医療福祉産業創生フォーラム

講師 ▶ 日本大学工学部電気電子工学科 教授 酒谷 薫 氏

③イノベーションテクノロジーフォーラム

講師 ▶ 日本大学工学部機械工学科 教授 柿崎 隆夫 氏

#### ●フォーラムへのメッセージ

イノベーションテクノロジーフォーラム

「3Dプリンターを梃子に地域から世界へ放つイノベーションを」  
山形大学大学院理工学研究科 教授 古川 英光 氏

#### ●各フォーラムの産・官を代表して話題提供

①サステナブル地域づくりフォーラム

「日本大学工学部と郡山市による  
下水道事業に関する連携協定について」

講師 ▶ 郡山市下水道部下水道課 課長 大竹 伸裕 氏

②健康医療福祉産業創生フォーラム

「郡山市における地域包括ケアの課題と展望」

講師 ▶ 郡山市保健福祉部 地域包括ケア推進課 課長 安藤 博 氏

#### ●金融機関を代表して話題提供

「すべてを地域のために」~地域活性化に向けた当行の取り組み~

講師 ▶ 株式会社東邦銀行 法人営業部 部長 渡邊 貴志 氏

#### ●パネルディスカッション

テーマ:「どう応える? 待った無しの産学官連携」

【座長】日本大学工学部機械工学科 教授 柿崎 隆夫 氏

【パネリスト】上記 話題提供者6名



主催者挨拶 日本大学工学部長 出村 克宣 氏



経済会を代表して伊藤郡山商工会議所 副会頭の挨拶



フォーラム会場内の様子

企業連携の促進

## アドホック研究会

会員相互の技術、情報などの交流と幅広い研究を通して、新技術、新商品、新事業の開発と新市場の開拓を促進するとともに、生産・販売面での相互協力を促進し、会員企業の成長発展と地域産業の振興に貢献することを目的に活動しています。会員は郡山地域テクノポリス圏域内(郡山市、須賀川市、三春町、鏡石町、玉川村、石川町)などの企業経営者・役員です。

なお、平成29年3月31日をもって、アドホック研究会(郡山)は解散致しました。

## アドホック研究会(郡山)

研究会活動報告

**会員数** 16名(平成28年度末現在)  
平成28年度末解散

**会長** 根本 幸二  
(株)アクア工房 代表取締役社長)

## 平成28年度 事業内容

## 4月定期総会

## 5月例会

6月以降の  
例会テーマの検討、情報交換会

## 6月例会 視察研修:

- 産業技術総合研究所
- 福島再生可能エネルギー研究所(FREA)

## 7月例会

8月以降の例会テーマの  
検討、情報交換会

## 8月例会

9月以降の例会テーマの  
検討、情報交換会

## 9月例会 視察研修:

- 株式会社アンソー福島

## 10月例会

11月以降の例会テーマの  
検討、情報交換会

## 11月例会

12月以降の例会テーマの  
検討、情報交換会

## 12月 臨時総会

今年度末を以って、  
当研究会の解散決議がされる。

## 1月例会

2月以降の例会テーマの  
検討、情報交換会

## 2月例会

3月以降の例会テーマの  
検討、情報交換会

## 3月例会

情報交換会



定期総会



6月例会 視察研修(FREAにて)



6月例会 視察研修(FREAにて)



9月例会 視察研修(株アンソー福島にて)

## 須賀川方部アドホック研究会

研究会活動報告

**会員数** 27名(平成28年度末 現在)

**会長** 栗原敏郎(紅食株 代表取締役)

## 平成28年度 事業内容

## 4月定期総会

## 5月例会

三春異業種交流会との  
交流in須賀川



三春異業種交流会との交流(5月例会)

## 6月例会

**テーブルスピーチ** テーマ:電力システム改革に向けた取り組みについて  
講師:東北電力(株)須賀川営業所 副所長 矢沢 政幸 氏

## 7月例会 視察研修(宮城県):

- 東北電力(株)女川原子力発電所

## 8月例会 新規会員企業紹介:

- (有)金敷製作所
- 丸源道路(株)
- (株)東北須賀川電工

慶應義塾大学  
先端生命科学  
研究所内を見学  
(9月例会)



## 9月例会 視察研修(山形県):

- 慶應義塾大学  
先端生命科学研究所
- 鶴岡メタボロームクラスター
- オリエンタルカーベット ほか...



オリエンタルカーベットにて(9月例会)

## 10月例会 海外視察(マレーシア):

- JETRO  
クアラルンプール事務所
- 岩通マレーシア
- 日野自動車
- 自動車整備工場 ほか...

ベトロナス  
ツインタワーの夜  
(10月例会・マレーシア)



## 11月例会 視察研修(東京ビッグサイト):

- JIMTOF2016第28回工作機械見本市  
※須賀川商工会議所工業部会との連携事業

## 12月例会

**テーブルスピーチ** テーマ:「千葉工大の教育・学生に関する動向」  
講師:千葉工業大学工学部 教授 西田保幸 氏  
海外視察研修報告

## 2月例会 須賀川市企業間ネットワークセミナー2017への参加

- 第1部「講演会」

テーマ:集う、はじめる。医療機器開発の新しいカタチ  
講師:一般財団法人ふくしま医療機器産業推進機構専務理事

兼 福島県医療機器開発支援センター センター長 滝澤真己 氏

テーマ:~ふくしまから世界へ!福島医大と連携~

講師:林精器製造株式会社 代表取締役社長 林 明博 氏

テーマ:材料の可能性を追求して~パネル組立型ERの開発~

講師:神田産業株式会社 八ニリアル事業部営業技術部 部長 石澤 秀忠 氏

- 第2部「交流会」

## 3月例会 次年度事業計画策定意見交換会



ICTを活用した産業の振興

## 郡山オープンイノベーション(KOI)会議の開催

郡山市、会津大学、郡山地域テクノポリス推進機構の三者による包括連携協定の締結を受け、「航空産業」をテーマに、講師をお招きし、これまでに2回、参加企業の皆様方との意見交換を行いました。

参加企業の皆様方は、今後20年間で世界の民間航空機市場は「倍増」が見込まれ、国の「日本再興戦略2016」にも成長分野として位置付けられている「航空機産業」について、理解を深めていました。

第1回

### 郡山オープンイノベーション (KOI)会議

【日 時】平成28年 12月20日(火) 午前10時～正午  
【場 所】郡山市総合福祉センター

演 題 「航空産業と福島県」

講 師 (公財)国際研修交流協会

主任研究員 福本 和泰 氏

参加者 26名



開催風景

第2回

### 郡山オープンイノベーション (KOI)会議

【日 時】平成29年 2月21日(火) 午前10時～正午  
【場 所】郡山市役所5-1-1会議室

演 題 「航空機産業とインダストリー4.0」

講 師 (株)三菱総合研究所 企業・経営部門統括室

事業推進グループ兼経営コンサルティング本部

参与・チーフコンサルタント 奥田 章順 氏

参加者 16名



開催風景

## 郡山市、会津大学、郡山地域テクノポリス推進機構との 三者による包括連携協定の締結

郡山市と会津大学、郡山地域テクノポリス推進機構の三者は、平成28年12月20日(火)に郡山市役所で、「情報通信技術分野の産業振興」や「ICT人材の育成」などに向け、包括連携協定を締結しました。

具体的な協定項目は以下のとおりになります。

1 ICTを核とした産業振興  
(KOI会議の開催)

2 ICT人材の育成  
(大学が有する人的資源・知的資源の活用)

3 東日本大震災からの復興支援  
(産学官連携による復興支援)

4 その他学術振興及び地域社会の活性化に関すること



協定締結風景

平成29年度は、三者連携して、郡山オープンイノベーション会議(KOI会議)の開催、情報セキュリティ講座の開催、小中学生を対象としたプログラミング教育の実施、ICT企業と連携した就職支援等を実施する予定です。

この協定締結を機に、これまで以上に郡山テクノポリス圏域ものづくり企業の支援を図り、圏域企業の飛躍を後押しして参ります。

## 受発注機会の創出

## 郡山地域ものづくり受発注商談会

【主催】(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 【共催】郡山商工会議所  
 【協賛】株式会社東邦銀行 【実施日】平成28年12月2日(火)  
 【場所】郡山商工会議所 【人数】発注企業26社・受注企業61社

当機構設立30周年記念企画として、「新規取引先開拓」「ビジネスマッチングの機会創出」を図るため、12月2日(金)に郡山商工会議所で、大規模な「郡山地域ものづくり受発注商談会」を開催いたしました。

地元経済界を代表して、今泉 守顕 郡山商工会議所副会頭と、郡山市から浜津 佳秀 市産業観光部次長を来賓にお迎えし、ご挨拶をいただきました。

当商談会には、トヨタ自動車東日本(株)や富士電機(株)、古河電池(株)、会津オリンパス(株)等「県内外の発注企業26社」を招聘し、「郡山地域をはじめとする県内受注企業61社」と商談や情報交換を行い、販路拡大に向けて積極的な意見交換が交わされ、商談ブースは熱気に包まれていました。

商談会終了後は、交流会を開催し、参加者からは、「東北の商談会で最も良かった」「多様な企業の話が聞けて大変参考になりました」等、数多くの意見をいただきました。

平成29年度も、受発注商談会を開催し、ものづくり企業の支援に努めて参ります。



今泉副会頭挨拶



商談会風景

## 受発注機会の創出

## ICT活用による商談の機会

## ものづくりメーカーマッチングプラットフォーム「Linkers(リンカーズ)」の活用

平成28年12月に当機構とリンカーズ株式会社が覚書を締結し、当機構が大手発注企業と地元受注企業との架け橋になるコーディネーターとして登録されました。

リンカーズを通じた大手発注企業からの具体的な技術探索依頼に対して、当機構の強みである各分野に精通した各コーディネーターが圏域企業の技術等の目利きを行い、受注候補として推薦し、新規取引先の成立を支援してまいります。

〈受注案件に係る紹介企業〉平成28年12月～平成29年3月:7社

## 平成29年 テクノポリス新春講演会

ITの活用(クラウド会計・フィンテック)による企業の生産性向上について

クラウド会計は、個人事業主、企業の事業運営に必要なバックオフィス業務をテクノロジーの力により効率化、生産性の向上に繋がります。フィンテックは、ファイナンスとテクノロジーの造語で、消費者や金融機関、企業のバックオフィスにもたらす影響と将来の仕事のあり方についての講演内容でした。

【講師】株式会社マネーフォワード 取締役 瀧 俊雄 氏  
 事業推進本部長 宮原 崇 氏

【日時】平成29年1月18日(水) 13:30～15:00

【場所】郡山商工会議所 6階ホール

【参加】約90名

【主催】(公財)郡山地域テクノポリス推進機構

【共催】郡山地域テクノポリス市町村協議会

郡山地域テクノポリス推進協議会

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会



瀧 俊雄 氏 講演



宮原 崇 氏 講演



## 郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会は、(公財)郡山地域テクノポリス推進機構や郡山高度情報化システム研究会などと連携して、テクノポリス圏域内のICT化支援、高度情報化の推進を図るため、圏域内市町村、各種団体・企業、大学・情報系高等学校・専門学校等の協力のもとさまざまな事業を展開しています。平成28年度の主な事業は次の通りです。なお、平成29年度は、情報セキュリティ講座の開催や小中学生を対象としたプログラミング教室の実施、ICT企業と連携した就職支援活動を実施して参ります。

### ICT交流事業

#### ニューコマ交流懇談会2017

地域課題解決アプリケーションコンテストに向け、昨年11月に開催された「Connect 2016 in Koriyama with UDC(ハッカソン)」で入賞したアプリケーションの再プレゼンテーションを行いながら、そのブラッシュアップを目的に開催しました。

当日は、入賞チームに加え、福島県立テクノアカデミー郡山校や福島県立郡山商業高等学校、WiZ専門学校国際情報工科大学校、(株)東邦銀行などから出席がありました。プレゼンテーションの後、郡山高度情報化システム研究会会長の大槻努氏、郡山市ソーシャルメディア推進課長の植木一雄氏、UDC東北地区メンターとして国際航業(株)の和田陽一氏に講評をいただきました。

パネルディスカッションでは、(株)福島情報処理センターの大久保仁氏をコーディネーターに、パネリストとして登場した入賞チーム代表者から、アプリケーション開発の苦労裏話や今後の取り組みなどが披露されました。

【日時】平成29年 2月18日(土) 10:00～13:00

【会場】郡山商工会議所会館 6階「ホールA」

【参加者】30名

※UDC(アーバンテータチャレンジ)とは、オープンテータや地理空間情報を活用し、地域の課題解決を目的としたアプリケーションやサービスなどの作品を募集し、全国規模で行われるコンテスト。主催は一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会と東京大学空間情報科学研究センター「次世代社会基盤情報」寄付研究部門。実行委員には、経済産業省、国土交通省をはじめとする省庁、地方自治体、東京大学など教育研究機関、(株)インターネットイニシアティブ、NTT空間情報(株)などの企業が名を連ねる。



パネルディスカッションの様子

### 情報化人材育成・研修事業

#### ちびっ子マイスターズ・カレッジ2016「コンピューター動かし隊!」(再掲)

【日時】郡山会場…WiZ専門学校国際情報工科大学校:平成28年 7月23日(土) 午前(20名)・午後(20名)

鏡石会場…鏡石町図書館:平成28年 7月30日(土) 午前(20名)

須賀川会場…須賀川市産業会館:平成28年 7月31日(日) 午前(18名)・午後(20名)

【参加者】合計98名(郡山:40名、鏡石:20名、須賀川:38名)

【参加対象者】テクノポリス圏域内小学校高学年(4～6年生)

【講師】RIALAB. 代表 白府 誠氏(システムエンジニア)

【使用教材】「Ichigojam(いちごじゃむ)」

【主催】郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

【協力】ふくしまICT利活用推進協議会

【後援】郡山市・須賀川市・三春町・鏡石町・石川町・玉川村教育委員会・郡山高度情報化システム研究会

IchigojamIC  
取り組む子供たち



※Ichigojamとは、手のひらサイズの子供用パソコン。今回は、フレッドボード版(ハンダ付けの必要がなく、パーツを差し込むだけで完成するキット)の組み立てから、BASIC言語による簡単なプログラム体験を行った。

#### Connect2016 in Koriyama,with UDC(ハッカソン)

「ITやオープンテータを活用して、地域の課題を解決するアプリケーションを作ろう」をテーマに、1泊2日の合宿形式でアプリを開発するイベント。今回は「東京オリ・パラに向けた観光振興とインバウンドの増強」とし、事業を通してプログラミング技術の向上やコミュニケーション能力を高めることを目的に実施しました。市内ICT関連企業や福島県立郡山北工業高等学校、福島県立清陵情報高等学校、WiZ専門学校国際情報工科大学校に加え、岩手県から国立一関工業高等専門学校チームの参加も得て実施しました。企業のチームに学生が参加するなど、参加者同士の交流もあり有意義な2日間を体験しました。

【日時】平成28年 11月12日(土)～13日(日)

【入賞チーム名およびアプリケーション名】

郡山市長賞(FCS「チーム2」/Eventire)

郡山高度情報化システム研究会賞(FIC「TeamA」/Poste)

Connect2016 in Koriyama賞(FCS「チームZ」/テクスポ)

【技術セミナー講師】

「kintone」について:合同会社アクアビット 代表社員 長井 祥和氏

「Twilio」について:株式会社Dott 代表取締役社長 浅井 渉氏

【後援】郡山市

郡山商工会議所

日本大学工学部

WiZ専門学校国際情報工科大学校

ふくしまICT利活用推進協議会

NPO法人まざっせKORIYAMA

郡山高度情報化システム研究会

福島民報社

福島民友新聞社

【会場】郡山市青少年会館

【参加者数】89名(11チーム)

【インプットセミナー講師】

(株)JTB東北 法人営業第一課長 富久尾 圭造氏

磐梯熱海温泉 (株)栄楽館ホテル華の湯

取締役常務総支配人 菅野 豊臣氏

郡山市産業観光部 観光課観光係長 村上 正則氏

【運営進行】(株)福島情報処理センター

大久保 仁氏(エフスタ!! 代表)

国際航業(株) 営業本部

和田 陽一氏(UDC東北地区メンター)

【運営協力】Code for KORIYAMA/エフスタ!!

過去最高の  
89名が参加



※ハッカソンとは、「ハック(アプリケーション開発)」と「マラソン」を合わせた造語。プログラマーやデザイナーからなる複数のチームが、短期間集中的に開発を行い、成果を競うイベントの一種。2013年頃から話題を集め、現在では大手企業の他、省庁や自治体など公的機関による主催も増えつつある。また、IT関連だけでなく、商品・サービスの開発や地域活性化など、さまざまな領域で開催されている。

## □□□ ICT高度利用推進事業 □□□

### 「脱Excel! kintoneで業務改善」セミナー

業務アプリケーションが誰でも簡単に作れて、データの共有や複数人での更新が楽に行えるクラウドサービス「kintone(キントーン)」を使って、業務改善に役立てることを目的に開催しました。講師には、kintoneエバンジェリストを招き、デモンストレーションを交えながら詳細な説明を頂きました。

【開催日時】平成28年 9月30日(金) 14:00～16:00

【開催会場】郡山商工会議所会館 5階 5-1会議室

【参加者数】32名

【講師】合同会社アクアビット 代表社員  
長井 祥和 氏(kintoneエバンジェリスト)

【共催】郡山高度情報化システム研究会

セミナーの様子



## □ 平成28年度 総会等の開催報告 □

### ・監査会

【日時】平成28年4月20日(水) 13:30～

【場所】(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 会議室

【内容】平成27年度 事業報告及び決算

### ・総会

【日時】平成28年 4月26日(火) 10:30～

【場所】ビッグパレットふくしま4階 プレゼンテーションルーム

【内容】平成27年度 事業報告及び決算、平成28年度事業計画  
及び収支予算、ボードメンバー会議設置の件

・臨時総会:平成28年11月21日、書面表決により丹治一郎会長  
(元(公財)郡山地域テクノポリス推進機構理事長、  
元郡山商工会議所会頭)の後任として、滝田康雄会  
長((公財)郡山地域テクノポリス推進機構理事長、  
郡山商工会議所会頭)が全員一致で選任される。

### ・第1回 ボードメンバー会議

【日時】平成28年 5月17日(火) 10:00～

【場所】郡山地域テクノポリスものづくり

インキュベーションセンター 会議室

【内容】総会報告、平成28年度 事業計画の件

### ・第2回 ボードメンバー会議

【日時】平成28年 6月14日(火) 10:00～

【場所】郡山地域テクノポリスものづくり

インキュベーションセンター 会議室

【内容】Connect2016「アイデアソン・ハッカソン」

ちびっ子マイスターズ・カレッジの件

### ・第3回 ボードメンバー会議

【日時】平成28年 9月2日(金) 14:00～

【場所】郡山地域テクノポリスものづくり

インキュベーションセンター 会議室

【内容】ちびっ子マイスターズ・カレッジ

「コンピューター動かし隊!」報告

Connect2016「ハッカソン」

今年度下半期事業の件

### ・第4回 ボードメンバー会議

【日時】平成29年 3月9日(木) 10:30～

【場所】郡山地域テクノポリスものづくり

インキュベーションセンター 会議室

【内容】平成29年度 事業計画の件

## 平成29年度の主な事業・イベント

4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度 決算監査(4/19)</li> <li>平成29年度 総会(4/27)</li> </ul>	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3回 ボードメンバー会議</li> <li>第2回 セミナー(IoT関連)</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回 ボードメンバー会議(5/11)</li> </ul>	11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>Connect 2017 ハッカソン (11/11～12 郡山市青少年会館)</li> <li>交流会・展示会</li> <li>第3回 セミナー(産学官連携フォーラム:共催)</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>Connect 2017 アイデアソン</li> </ul>	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>Connect 2017 (UDC応募)</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2回 ボードメンバー会議</li> <li>プログラミング教室(郡山)</li> <li>プログラミング教室(福島空港:石川・玉川・三春)</li> <li>プログラミング教室(須賀川・鏡石)</li> </ul>	1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>第4回 セミナー(テレワーク関連)</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>Connect 2017 中間発表会</li> <li>第1回 セミナー(情報セキュリティ:8/23)</li> </ul>	2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>第4回 ボードメンバー会議</li> </ul>

## サイエンスツアー(くらしの工学を学ぼう)

圏域内には、日本大学工学部を始めとする高等教育機関や、公設試験研究機関である福島県ハイテクプラザ、国立研究開発法人産業技術総合研究所再生可能エネルギー研究所(FREA)、福島県環境創造センター、ふくしま医療機器開発支援センターが開設されるなど、先進的学術研究機関の集積が進んでいます。また、日本遺産に認定された「猪苗代湖・安積疏水・安積開拓を結ぶストーリー、未来を拓いた『一本の水路』」大久保利通「最後の夢」と開拓者の軌跡 郡山・猪苗代」など産業遺産も数多く点在しております。特に、郡山地域には医療機器開発関連施設の進出が目立っており、郡山地域テクノポリスのづくりインキュベーションセンター(INC)の機能を活用した研究が進む現状にあります。当機構では、これらの貴重な地域資源を活用し、郡山地域の魅力向上につながる「サイエンスツアー」を平成26年度から実施しております。

平成28年度開催概要(開催件数7社)

- 日本商工会議所福島復興支援研修…………… 4月23日(土):28名  
(郡山商工会議所会館、郡山西部第二工業団地、諸橋近代美術館を視察)
- 群馬県前橋商工会議所青年部経営委員会…………… 7月22日(金):25名  
(日本大学工学部「ロハスの家」、福島県ハイテクプラザを視察)
- 起業家UJターン支援事業…………… 10月13日(木):11名  
(創業者交流事業「郡山で起業」体感ツアー編でINCを視察)
- あさかの学園大学臨地学習…………… 10月20日(木):46名  
(専門1年郷土・生活学科生がINCを視察、浅部地中熱利用について学ぶ)
- あさかの学園大学臨地学習…………… 10月28日(金):35名  
(専門1年芸術・文化学科生がINCを視察、浅部地中熱利用について学ぶ)
- あさかの学園大学臨地学習…………… 11月30日(水):33名  
(専門1年健康・福祉学科生が日大の酒谷薫教授から健康長寿について学ぶ)
- 鳥取大学医学部付属病院…………… 11月17日(木):40名  
(次世代高度医療推進センターが、麻子チオンのテクニカルテラロップメントセンターを視察)

## こおりやま産業博 KORİYAMA EXPO 2016

【日 時】平成28年 10月7日(金)・8日(土)・9日(日)  
【場 所】ビッグパレットふくしま

テクノ展示ブース



【主 催】こおりやま産業博実行委員会(郡山市・郡山商工会議所・郡山地区商工会広域協議会・JA福島さくら)  
【協 力】公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構・郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会  
こおりやま産業博-KORIYAMA EXPO2016-では、「イノベーション・トゥ・ザ・ネクスト-拓こう未来へのトビラ-」をテーマに、市内の事業所など約200の団体がブースを出展し商業都市郡山の魅力を発信する展示・販売コーナーを設け、ロボットなどの最新技術や伝統工芸、医療、介護、福祉など暮らしに役立つ情報の提供や地元の野菜や果物、特産品を販売するコーナーがあり、約20,000人を超える来場者で賑わいました。  
当機構も、今年設立30周年記念として出展3小間を設けインキュベーションセンターの入居企業10社の展示を企画し多くの来場者で賑わいました。来場者の中には、再生可能エネルギー(ハイブリッド温室)関係に興味を示された方もいるなど全体として好評でした。

### イベント内容

- ・『話題の水素自動車 TOYOTAミライ展示』
- ・『日本初 最先端のIoT機器を活用した未来の暮らし体験』
- ・『溶接の匠デモンストレーション』
- ・『VRゴーグルで仮想現実体験』など

## 第5回 ふくしま復興・再生可能エネルギー産業フェア2016(REIFふくしま2016)

【日時】平成28年 10月19日(水)・20日(木)  
【場所】ビッグパレットふくしま 【来場】6,080名  
【主催】福島県、公益財団法人福島県産業振興センター  
【共催】復興庁、外務省、経済産業省等

このフェアは、原子力に依存しない安全・安心な社会を創るため福島県を再生可能エネルギーの先進地とすることを目的に、新たな産業の創出、関連産業の集積・育成や、関連産業でビジネスに取り組まれる企業・団体の皆様に技術・情報の収集、商談・交流の場を提供するものとして開催されました。  
当機構も展示ブースを設け、当機構の事業等について、来場者に紹介しました。



テクノ展示ブース

### イベント内容

- オープニングセミナー「ふくしまからはじめよう、再生可能エネルギーのみらい」  
福島県再生可能エネルギー関連産業推進研究会 会長 服部 靖弘氏(他4名 発表)
- REIF基調講演「福島の明日を考える ～再生可能エネルギーと人口問題～」  
東京大学公共政策大学院客員 教授 増田 寛也 氏
- FREA「再エネ」セミナー ～「再エネさきがけの地『福島』を目指して」～  
「FREAの現状と将来」  
国立研究開発法人 産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所長 大和田野 芳郎 氏(他5名 発表)
- 国際経済交流セミナー(第1部):「再生可能エネルギー分野におけるドイツNRW州と福島県の連携について」  
福島県商工労働部 産業創出課長 吉田 和史 氏(他2名 発表)
- REIF特別講演「再生の切り札 地熱が日本を救う」…小説家 真山 仁 氏
- 国際経済交流セミナー(第2部):「再生可能エネルギー100%を目指すデンマークの挑戦 ～バイオマスを使った熱供給の取組みを中心に～」  
デンマーク王国大使館 首席商務官 エネルギー・環境担当 田中いずみ 氏(他2名 発表)
- 出展者交流会 / 取引商談会

## メディカルクリエーションふくしま2016

【日時】平成28年 11月25日(金)・26日(土)  
【場所】ビッグパレットふくしま  
【来場】約4,000名  
【主催】メディカルクリエーションふくしま実行委員会  
【共催】(一社)日本医療機器学会  
(公財)医療機器センター

今年で12回目の開催となり、医療機器設計・製造展示会&最新技術セミナー「メディカルクリエーションふくしま2016」が開催されました。『集う、はじめる。医療機器開発の新しいカタチ』をテーマに掲げ、ビジネスマッチングのための展示商談会に加え、医療福祉用ロボットや本県のリーディングプロジェクトである救急災害対応医療機器開発の成果などの企画展示など多彩なプログラムで実施されました。当機構インキュベーションセンター入居企業の出展もあり、出展者数は国内外から280企業・団体でした。

## 第12回 江原医療機器展示会 GMES2016(韓国)

【開催日】平成28年 9月22日(木)～23日(金)

【開催場所】韓国:江原道原州医療機器総合支援センター  
【主 催】江原道原州市  
【主 管】(財)原州医療機器テクノパレ

KOTRA(大韓貿易投資振興公社)/韓国産業団地公団  
9月22日・23日に韓国江原道原州市で開催された「第12回 江原医療機器展示会GMES2016」に郡山地域の医療福祉機器関連企業等の成果品を出品し、技術協議や商談が展開された。(参加社:韓国79社、海外9社(内日本7社):バイヤー37カ国95社)



### 参加企業・大学と出展品

- ①ひさき設計株式会社(携帯型放射線量測定器、PM2.5測定器等)
- ②株式会社アド(無線電子聴診器(プレスコ))
- ③株式会社ケイ・エス・エム(医療機器応用電気基盤の筐体)
- ④日本大学工学部長尾研究室(膝OA計測器)
- ⑤(公財)郡山地域テクノポリス推進機構(当財団の紹介パネル展示)

## (公財)郡山地域テクノポリス推進機構

### 平成28年度 理事会等の開催報告 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

#### 理事会

- 第1回 【日時】平成28年6月6日(月)  
【場所】インキュベーションセンター  
【内容】平成27年度事業報告  
及び決算 ほか
- 第2回 【日時】平成28年6月21日(火)  
【場所】ビッグパレットふくしま  
【内容】理事長及び常務理事の選定
- 第3回 【日時】平成28年7月12日(火)  
【場所】書面による開催  
【内容】評議員会招集  
(補充評議員選任)
- 第4回 【日時】平成28年11月9日(水)  
【場所】書面による開催  
【内容】評議員会招集  
(補充理事選任)

- 第5回 【日時】平成28年11月21日(月)  
【場所】インキュベーションセンター  
【内容】理事長の選定  
減価償却引当資産の目的外取崩し  
平成28年度業務執行状況
- 第6回 【日時】平成29年3月21日(火)  
【場所】インキュベーションセンター  
【内容】平成28年度補正予算  
平成29年度事業計画  
及び当初予算  
特定資産の取崩し ほか

#### 監査会

- 【日時】平成28年5月26日(水)  
【場所】ビッグパレットふくしま  
【内容】平成27年度事業及び決算

#### 評議員会

- 第1回 【日時】平成28年5月11日(水)  
【場所】書面による開催  
【内容】補充評議員1名  
及び補充監事1名の選任
- 第2回 【日時】平成28年6月21日(火)  
(定時) 【場所】ビッグパレットふくしま  
【内容】任期満了による理事・監事の選任  
平成27年度事業報告及び決算  
平成28年度事業計画及び収支予算
- 第3回 【日時】平成28年7月22日(金)  
【場所】書面による開催  
【内容】補充評議員1名の選任
- 第4回 【日時】平成28年11月17日(水)  
【場所】書面による開催  
【内容】補充理事1名の選任

## 平成29年度の主な事業・イベント

5月

- ・助成事業 第1回公募 (4/1～5/31)
- ・インキュベーションセンター入居者審査委員会(5/10)
- ・アライアンス役員会(5/17)
- ・郡山地域産業支援機関連絡会議(5/23)

6月

- ・第1回 理事会(6/7)
- ・アライアンス総会(6/6)
- ・アライアンス・企業製品・研究成果等発表会(6/6)
- ・定時評議員会(6/23)

7月

- ・ちびっ子マイスターズ・カレッジ(7/22・23)

8月

- ・マイスターズ・カレッジ受講生募集開始
- ・中学生医工連携人材育成事業(8月上旬)
- ・インキュベーションセンター入居者審査委員会

9月

- ・マイスターズ・カレッジ2017(9月中旬～11月中旬)
- ・アライアンス・企業製品・研究成果等発表会

10月

- ・助成事業第2回公募(10/1～11/30)
- ・こおりやま産業博(10/6～8)

11月

- ・再生可能エネルギー産業フェア2017(11/8～9)
- ・アライアンス・企業製品・研究成果等発表会
- ・ロボットフェスタふくしま
- ・メディカルクリエーションふくしま2017
- ・第18回 産学官連携フォーラム
- ・サイエンスツアー

12月

- ・郡山地域ものづくり受発注商談会(12/1)
- ・理事会(12月上旬)

1月

- ・平成30年 テクノポリス新春講演会

2月

- ・アライアンス・全体会
- ・インキュベーションセンター入居者審査委員会

3月

- ・理事会(3月中旬)

※企業連携(アライアンス)促進のための「サステナブル地域づくりフォーラム」「イノベーションテクノロジーフォーラム」そして「健康医療福祉産業創生フォーラム」についても、実施してまいります。さらに、会津大学、郡山市、当機構の三者による「郡山オープンイノベーション会議(KOI会議)」も実施してまいります。



## 役員・職員等の紹介

### 公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構 役員

【任期：平成28年6月21日～平成30年6月定時評議員会】 平成29年5月8日現在(順不同・敬称略)

理事長	滝田 康雄	郡山地域テクノポリス推進協議会会長 郡山商工会議所会頭
常務理事	齋藤 隆	郡山商工会議所常務理事
理事	福井 邦顕	日本全業工業(株)代表取締役会長
理事	渋谷 重二	郡山地区商工会広域協議会会長 富久山町商工会長
理事	岩谷 幸雄	郡山地域テクノポリス推進協議会副会長 玉川村商工会長
理事	出村 克宣	日本大学工学部長
理事	二見 亮弘	福島大学理工学群長・共生システム理工学類長
理事	根本 博	鏡石町産業課長
理事	吉田 純治	石川町産業振興課長
理事	須田 潤一	玉川村産業振興課長
監事	古川 光雄	(株)大東銀行取締役本店営業部長
監事	新野 徳秋	三春町産業課長

### 公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構 評議員

【任期：平成26年6月24日～平成30年6月定時評議員会】 平成29年5月8日現在(順不同・敬称略)

評議員	伊藤 清郷	郡山商工会議所副会頭
評議員	山田 慶太	郡山商工会議所工業部会長
評議員	林 明博	須賀川商工会議所工業部会長
評議員	柿崎 隆夫	日本大学工学部工学研究所次長
評議員	須藤 英穂	(株)東邦銀行常務取締役
評議員	後藤 宏	東北電力(株)郡山営業所長
評議員	鈴木 清昭	(公財)福島県産業振興センター理事長
評議員	新関 勝造	福島県商工労働部 再生可能エネルギー産業推進監兼次長
評議員	石堂 伸二	須賀川市産業部長
評議員	筋内 範夫	郡山市産業観光部次長

### 郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会委員

平成29年4月27日現在(順不同・敬称略)

会長	滝田 康雄	(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 理事長
副会長	出村 克宣	日本大学工学部長
副会長	鈴木 正博	郡山商工会議所 情報文化部会長
委員	渡邊 達雄	須賀川商工会議所 会頭
委員	渋谷 重二	郡山地区商工会広域協議会会長
委員	阿部 晃造	郡山商工会議所 工業委員長
委員	和知 康大	(株)NTT東日本 - 東北 福島支店 郡山エリア支店長
委員	酒井 良信	(株)エフコム 代表取締役会長
委員	水上 哲夫	(有)ばすわーど 代表取締役
委員	松崎 健一	福島県企画調整部参事兼情報政策課長
委員	吉田 和史	福島県商工労働部産業創出課長
委員	菅原 康則	福島県ハイテクプラザ副所長
委員	濱田 守	郡山市政策開発部長
委員	石堂 伸二	須賀川市産業部長
委員	柳沼 英夫	鏡石町総務課長
委員	齋藤 隆	(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 常務理事
監事	浜津 佳秀	郡山市産業観光部長
監事	上田 哲	郡山商工会議所開発事業部長

### 郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会 ボードメンバー

平成29年5月11日現在(順不同・敬称略)

和知 康大	(株)NTT東日本 - 東北 福島支店 郡山エリア支店長
水上 哲夫	(有)ばすわーど 代表取締役
小林 秀明	(株)福島情報処理センター 郡山システム部 部長
二瓶 幸恵	(株)エフコム サービスビジネス本部 本部長代理兼フィールドサービス部 部長
新藤 純也	(株)コンピュータシステムハウス マネージャー
水野 和哉	WIZ国際情報工科大学 校長
大槻 努	大槻電気通信(株) 代表取締役
沼田 克己	プリマックス(株) 会津営業所長
佐藤 賢二	エリア・マークス(株) 代表取締役
鈴木 朱美	福島リビング新聞社 郡山支社長代理 郡山営業部長
古宮 智宏	東邦銀行郡山営業部 取締役郡山営業部長
菅家 元志	(株)プレイノベーション 代表取締役社長

### (公財)郡山地域テクノポリス推進機構・事務局

平成29年4月1日現在

常務理事	齋藤 隆	郡山商工会議所出向
事務局長兼事業部長	鈴木 秀明	郡山商工会議所出向
事務局次長兼総務部長	喜古 克広	福島県OB
企画管理課長	矢吹 貴志	郡山市派遣
技術振興課長	遠藤 文康	須賀川市派遣
新事業支援課長	柴田 英幸	東邦銀行出向
管理員兼技術コーディネーター	佐藤 喜幸	
技術コーディネーター	池浦 清一	
技術コーディネーター	佐藤 正弘	
技術コーディネーター	吉田 裕二	インキュベーションマネージャー
技術コーディネーター	井上 明博	
技術コーディネーター	筋内 一男	
技術コーディネーター	永倉 文芳	
総務担当	鈴木 琴子	
情報化支援担当 (郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会)	久保田江美	

**ACCESS**

- 福島空港から郡山駅まで(シャトルバスで約35分)
- 郡山駅から南へ3km(車で約10分、バスで約20分)
- 東北自動車道郡山南インターから東へ約6km(車で約10分)

お問い合わせ／ご相談はお気軽にご連絡ください

## 編集／発行 公益財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構 郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会



〒963-0115 福島県郡山市南二丁目52番地 ビッグバレットふくしま3階  
 TEL.024-947-4400/FAX.024-947-4475  
 E-mail techno@nm.net6.or.jp URL http://www.techno-media.net6.or.jp/  
 【Facebookページ】https://www.facebook.com/technoandnmc  
 【メールマガジン登録】  
 http://www.techno-media.net6.or.jp/magazine/index.php



この印刷物は、FSC®認証と環境にやさしい植物油インキを使用しています。紙へリサイクル可。